

## 平成 29 年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志舎中央  
 学校関係者評価委員会 動物部会  
 名古屋動物専門学校

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「平成 28 年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

## 1. 平成 29 年度学校関係者評価委員会

## &lt; 委員 &gt; (五十音順)

鎌田 浩行 氏 立志舎高等学校 校長  
 出島 貴加 氏 イオンペット株式会社 動物病院事業部  
 イオン動物病院ナゴヤドーム前 動物看護師 卒業生  
 道満 直樹 氏 有限会社ペット P・D 代表取締役  
 前田 勇太郎 氏 有限会社前田愛犬訓練所 代表取締役  
 宮 忠臣 氏 株式会社 T J D 宮訓練所 代表取締役  
 山下 宏幸 氏 株式会社 コジマ 取締役 人事部 部長

## &lt; 事務局 &gt;

千葉 一郎 学校法人立志舎中央 副学園長  
 氏原 英実 学校法人立志舎中央 教務部 部長  
 田中 俊之 学校法人立志舎中央 教務部 課長

## 2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
基準 1 教育理念・目標	(1) 私は卒業生ですが、「学生から信頼され支持される学校づくり」という学園の基本目標は、私が卒業してから設定されたことと思われるが、とてもよいと思う。 (2) 先生が親身になって相談にのってくださり、先生方全員を信頼している。
基準 2 学校運営	問題ありません。
基準 3 教育活動	問題ありません。
基準 4 学修成果	(1) 就職指導面では、先生方がグループ面接、個人面接など、企業の面接形態に合わせて熱心に指導してくださり、非常に役立ちました。 (2) 他校と比較して就職率が非常に高く、素晴らしい学校だと思った。 (3) 学校では犬の勉強が中心であったが、在学中に猫の勉強をして予備知識があると就職した時に役に立つと思う。
基準 5 学生支援	「高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか」について、「ほぼ適切」なのは、授業スケジュールが合わないからか。 【回答】：高校生に対して職業理解のサポートをして、将来の職業を示すことも本学の役割のひとつであると考えているが、全ての高校からの依頼を受けることが

	<p>できていない。今後もできるだけサポートしていきたいと考えている。また、姉妹校の東京法律専門学校名古屋校では、高校生対象の公務員試験対策講座や、高校の先生方対象の「指導者セミナー」などを行っているが、本学ではこういった活動ができていないので、評価を「ほぼ適切」とした。</p>
基準6 教育環境	<p>(1) 私は動物系備品の供給業者であるが、他校は設備投資をあまり行わず、また、故障しても修理せずそのままにしている備品が多い。それに比べて貴校は、メンテナンスもしっかり行っているので「ほぼ適切」の評価は低すぎるのではないかと思う。</p> <p>(2) 私は卒業生だが、学校で購入した備品（グルーミング道具等）は特に壊れることもなく使用することができた。設備に不満もなかった。</p>
基準7 学生の受け入れ募集	<p>(1) 案内書は分かりやすい。</p> <p>(2) 動物分野の専門学校は多く、将来はペットショップ店員になりたかったので高校の先生に相談したところ、ペットビジネスコース（現ペットショップビジネスコース）があるこの学校を紹介してもらい、オープンキャンパスに参加した。</p>
基準8 財務	問題ありません。
基準9 法令等の遵守	問題ありません。
基準10 社会貢献・地域貢献	<p>(1) 介助犬フェスタやラグーナテンボス、競技会、高齢者介護施設等でボランティア活動に参加しているので「適切」でよいと思う。</p> <p>(2) 近隣の公園で、小型犬を散歩させている様子が見うけられた。学生の日頃の学習成果の発表の場として、自発的に公園へ出向き、飼主様との交流を持つことも地域貢献につながるのではないかと思った。</p>